

第2期 平成27年度第1回 新宿区多文化共生まちづくり会議 議事概要

日 時 平成27年5月20日（水）10:00～12:00

場 所 新宿区役所本庁舎6階 第2委員会室

出席委員 毛受委員、山脇委員、川村委員、稲葉委員、郭委員、安藤（博）委員、金委員、サ
プコタ委員、高委員、洪委員、センブ委員、シュレスタ委員、鈴木委員、バーバー
委員、小林委員、栢木委員、盛委員、安藤（陽）委員、飯嶋委員、本多委員、太田
委員、森田委員、竹内委員 23名

欠席委員 櫻井委員、丁委員、イーイーミン委員、江副委員、李委員、梶村委員、井上委員、
勝村委員 8名

- 1 開会
- 2 事務局挨拶
- 3 新宿区多文化共生実態調査について

（1）インタビュー調査

①調査概要について

- ・インタビューを行う調査員の知識や技量によって調査の精度が大きく変わってくる。インタビューは誰が行うのか。

⇒事務局が中心となって実施する。

②調査対象者について

- ・調査対象者100名はどのように選定するのか

⇒各機関、団体等の紹介を通じて選定する。また、地域・在住年数・国籍等をバランスよく選定したい。

- ・日本人対象者に民生委員等の地域福祉に関わる方を加える。
- ・外国人対象者に外国ルーツの若者、不動産業を加える。
- ・団体に子育てサークル、保健センター、子ども家庭支援センター等の子育て支援機関や医療機関を加える。

③調査内容について

- ・外国人、日本人の質問項目を可能な限り共通にしてほしい。
- ・不動産・大家が外国人に部屋を貸す際に、何か起きた時にどこに相談すればよいかわか

らないという課題がある。それを汲取るような質問を追加してほしい

- ・良かったこと、困ったことなどの二項対立での質問は望ましくない。どのように感じるかというフラットな質問をするべき。
- ・子育て中の方に対するインタビューにおいては、外国人(日本人)保護者との付き合いがあると答えた場合、付き合いのきっかけが何だったのかを伺いたい。

(2) アンケート調査

- ・外国人が増えて心配なことを設問にした場合、外国人が増えることがネガティブに捉えられる。良いことも悪いことも含めて感じたことをフラットに記入してもらう記述式にするべき。
- ・良いこと、悪いことを同じ設問の中で併記し、複数回答の選択式にすればニュートラルになる。
- ・実態調査は課題の掘り起しという目的があるため、設問がポジティブかネガティブかという議論は適さない。

4 その他

- ・事務局から調査票発送までのスケジュールについて説明した。

5 閉会